

航空のプロへ 292人精励誓う

中日本航空専門
学校で入学式

中日本航空専門学校の入学式が6日、関市迫間の同学校であり、292人が航空産業の技術者を目指し勉学をスタートさせた。

新入生は航空整備科168人、航空生産科40人、エ

アポートサービス科84人。中部地方を中心に全国から入学、女子の新入生は過去最高の56人。二等航空整備士コース（飛行機タービン専攻）が全国初の国土交通大臣指定航空従事者養成施設を受けたほか、2年生でニュージーランドへ約9カ月間の新たな留学制度も開始される。

式では、安藤弘治校長が



新入生を代表して宣誓する
木藤秀太さん（関市迫間、
中日本航空専門学校）

「建学の精神は技術者たる前によき人間たれ。誠心誠意に真剣に取り組むという一期一会の姿勢を持って卒業まで頑張つてほしい」と式辞を述べ、新入生を代表し航空整備科の木藤秀太さん（18）（埼玉県出身）が「人間性豊かな技術者を目指して自己を磨き、勉学に精励することを誓

う」と宣誓した。

（長瀬勝巳）